



海のたより



3月29日 トレーニングレース

目次	行事予定
表紙 トレーニングレース	4月19日 4月MCCポイントレース
P 2 MCC トレーニングレース	4月26日 4月スモールレース
P 3 J S A F 三河湾周遊レース	5月3日 五箇所湾合同レース
P 4 合同レースレース方式変更ほか	5月17日 MCC春のチャンピオンシップ
	5月24日 エリカカップヨットレース

MCC海のたより4月号・MCC海のたより4月号・MCC海のたより4月号

3月トレーニングレース

29日微風、小雨の中開催。風が物足りず残念ですが初レースで体をほぐしました。

				名称	3月トレーニング 第1レース					
				コース	S-上-下-上-下-F					
				距離						
				風速	5m 以下					
				スタート	10:45:00					
					(B)	(A*B)	順位			
No	艇名	TYPE	MRC	到着時刻	着順	所要時間	修正時間	得点		
5791	Hornet	Seam 31	1.015	11:29:41	1	0:44:41	0:45:21	1		
5550	Super Wave 6	Slot 31	0.990	11:32:13	2	0:47:13	0:46:45	2		
6155	ANNEX V	First 36.7	1.019	DNF		DNF	DNF	3		

				名称	3月トレーニング 第2レース						
				コース	S-上-下-上-下 -F						
				距離							
				風速	5m 以下						
				スタート	12:10:00						
					(B)	(A*B)	順位	合計	総合		
No	艇名	TYPE	MRC	到着時刻	着順	所要時間	修正時間	得点	得点	順位	
5791	Hornet	Seam 31	1.015	12:46:26	1	0:36:26	0:36:59	1	2	1	
5550	Super Wave 6	Slot 31	0.990	12:47:32	2	0:37:32	0:37:09	2	4	2	
6155	ANNEX V	First 36.7	1.019	12:50:34	3	0:40:34	0:41:20	3	6	3	



第1レース下マークでの攻防



MCC海のたよみ4月号・MCC海のたよみ4月号・MCC海のたよみ4月号



ホーネット、三河湾周遊レースで入賞

今年幕開けのレースはJ S A F三河湾周遊レース。

日産マリーナ沖をスタートして潮流ブイ、次に佐久島を時計回り、また日産へと戻るコース。昼頃から東の風が強くなる予報。乗員は6人、400kg 足らずなので余り吹かれるとつらい。

小雨が降り、遠くは靄でかすむような弱い東の風。スタートラインは下有利、他方、東から南東へ振れるなら南へ行きたいので上からというのもありか。

ベンガル (X-41)、ジャスト (Farr36M)、アケア (JV9.6CR) 等が下の方へ行くのを確認しながら本部船や下からスタートラインとの距離を測りつつ上って行く。

上からエルドラド (YAMAHA40Rk) が来てこの風下に入ってしまうそうになり、何とかバウを出そうと上って行くが今一のスタート。

ベンガル等が西浦をかわそうとタックを返していくので早く返したいがいい位置が確保できないためずると一番左まで行ってしまふ。タックを返すと西浦の影響を受けてブローとラルを交互に迎える。

ブローではリフトでゲイン、西浦をかわすと右に行った艇に対して有利な位置関係になり先行はベンガルとジャストという好位置。その後も2回程ヘッダーでタックができて潮流ブイをベンガル、ジャスト、ジョーカーの次に回航しスピニアップ。後ろからケーニツヒが追い付いてくる。更にナルミ (YAMAHA33S)、パラフレニアン (First40.7)、ブーメラン (J/92) も。

佐久島へ向かうコースでは去年の悪夢、デスマストが思い出されるが今日の風は10Knot程。佐久島付近で少し風が上がり、次の上りのジブ選択に迷うが、新調した小さめのNo.1を使うことに。最初これで正解と思えたが、抜かれたナルミについて行けなくなり、風が徐々に弱まってジブ交換かと思ふ。だが、クローズよりやや下るコースとなり、新調セールを試してみたいと思ふそのままで行く。

後ろのパラフレニアンに抜かれないようにと集中するが、猿ヶ島に近づくと更に風が落ちる。先行のジャスト、ジョーカーが止まっている。このままの位置でフィニッシュしたいが、ここまで来てリスタートになるのか。

靄の中、フィニッシュラインを目前に確認したところでぱったりと風が落ちる。辛うじて残る風に合わせてスピンを揚げ、更にはそれも抵抗となるようになりダウン、だらだらのトリムで艇をフィニッシュに向けるしかない。潮のせいかな全然近づかない。いらいらを抑えながら、パラフレニアン、ナルミに続き、何とかフィニッシュ。その後、無風状態となって後続艇はより難儀する状況となった。

3月に2回、ノースセールの豊田さんに乗ってもらいヘルムを基にしたトリムを教してもらった。ヘルムスマンがヒールやセールのトリムの指示を絶えず伝えること、クルーもトリム、自分の役割、レースの展開を考えること。今回は序盤のコースのラッキーもあったが、こうしたことを意識することが艇の走りにも繋がっているのではないか。

幸先の良い結果を得られたが、新しいマストのセッティング、セールトリムはまだまだ手探りの状態なので、メンバーみんなでいい走りを引き出していけるといい。



ホーネット 正木

IRCクラス 優勝 ベンガル7 2位 ジャストエイト 3位 ホーネット

TRSクラス 優勝 ホーネット 2位 パラフレニアン 3位 ケーニツヒ

4月ポイントレース、ラグーナ合同レース レース方式変更

ラグーナとの合同レースレース方式が変わります。
詳細は当日の艇長会議で説明されますが変更点を列挙します。

コース、スタートがA, Bクラスで区分されます。

	Aクラス	Bクラス
区分 (艇の長さ)	30 ft 以上(MCC艇)	29 ft 未満(スモール艇)
コース	上下 4レグ	上下 2レグ
第1スタート	10時半の予定	Aクラスの5分後にスタート
第2スタート	第1レース終了後約20分の予定	Aクラスの5分後にスタート
タイムリミット	第1レースは90分、第2は100分	第1レースは90分、第2は100分
その他	常時ライフジャケット着用義務付け	常時ライフジャケット着用義務付け

(注) J24、エリオットはAクラス

海陽ヨットハーバー職員異動

今泉君が3月末で退職し4月1日新入職員が着任しました。
社会人4年目の高木優子(たかぎゆうこ)さんです。



岐阜県海津市出身、三谷町に在住しています。
海津明誠高校、日本大学ヨット部でFJ、470にて活動してきました。
インターハイ優勝、インカレ総合優勝の経歴を持ちます。
スポーツが大好きでバレーボール、バドミントン、フットサルなどを経験しています。
趣味はと聞いたところ釣りとのことで、これからやってみようという趣味のようです。
抱負としてはヨットのことをもっと発信して行きたい。
岐阜の友人、知人にもヨットの体験、経験の機会を作って行きたいそうです。

